

令和4年度 学校評価アンケート(保護者)		平均点	評定
①	○伝える力の育成 ・少人数からクラス全体まで、積極的に話し合い伝え合う場をつくっています。 ・ICT機器を積極的に活用し、伝える力を伸ばします。	3.33	A
②	○学ぶ意欲の向上 ・感動と発見のある体験活動を重視し、主体的・対話的で深い学びを通して自ら問題を解決していこうとする子どもを育成します。	3.42	A
③	○明るいあいさつができる学校づくり ・学校生活の中で、日常のあいさつがすすんでできるように、啓発や実践活動を行います。 ・場に応じた言葉遣いができるように機会あるごとに指導します。	3.49	A
④	○自他を認め合う学級づくり ・少人数活動や縦割り班活動、委員会活動などを通して、人とうまく付き合う、協力してチームワークを図る、対立を処理解決するなどの人間関係づくりの能力を高めます。	3.52	A
⑤	○異年齢集団活動の活性化 ・1～6年までの縦割りのなかよし班を組織し、全校体制で、異学年集団の活動を意図的に実践します。	3.62	A
⑥	○運動の楽しさを感じる活動の充実 ・体づくり運動を重視し、基礎的な体力づくりに努めます。 ・運動が楽しいと実感できる授業の工夫を推進します。	3.34	A
⑦	○校区の環境や人材を生かした教育活動や、安全指導の充実 ・学校評議員・保護者・地域の方を中心に、授業・行事・安全指導などへのさらなる参加を求め、活性化を図ります。 ・生活科・総合的な学習・社会科の授業を中心に、地域の人材、教材を生かした授業実践を推進します。	3.44	A
⑧	○明るく協働できる職員集団の形成 ・教育公務員としての意識をもってすべての教員が協働して学習指導・生活指導などの学校教育活動を行います。	3.41	A
⑨	○地域に開かれた学校 ・ホームページや学級通信、学校だよりを通して教育活動を積極的に伝えたり、保護者や地域の人々の意見を真摯に受け止め学校経営に生かしたりして、地域に開かれた学校をめざします。	3.54	A

①～⑨を A:大いに評価できる B:評価できる C:あまり評価できない D:まったく評価できない の4段階で評価してもらい Aを4点 Bを3点 Cを2点 Dを1点として平均点を出した。平均点が3.2点をAとしている。

